

市内各地で活躍中！

地域おこし協力隊員の活動報告

地域おこし協力隊とは？

都市部などから地方に移り住んでもらい、地域の活性化や地域ブランドの強化などに取り組んでもらう制度です。

佐野市では、平成27年7月に中山間地域の活性化を目指し秋山地区で活動する隊員として平石栄子さん、平成28年4月にまちなかの活性化に取り組む隊員として横手貴史さん、平成29年1月に天明鋳物のPRなどに携わる隊員として大塚由香里さん、10月にスポーツ立市の推進に取り組む隊員として川内健吾さん、そして今年の1月には、まちなかの活性化に取り組む2人目の隊員として梅澤風太さんが赴任し、活動しています。

5人の活動の様子は『佐野市地域おこし協力隊』や『栃木県佐野市伝統工芸「天明鋳物』』というアカウントでのフェイスブックで随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

イベントを通してにぎわい創出の仕組みづくりを

地域おこし協力隊員としての活動も2年目となりました。今年度は、さのまちづくり株式会社の婚活イベントのサポートのほか、市内の飲食店を紹介するホームページ「さのまちなかグルメ」を開設しました。



横手貴史さん



11月に行った古民家の整備の様子。生い茂っている草木を刈るなど、協力隊員も手伝えました。

また、まちなかの空き家の利活用の一環として、11月にはまちなかの古民家の整備を実施しました。古民家の利活用に向けて、その一部分でもお手伝いしていけたらと思っています。

今後の活動としては、4月中旬に市道1級1号線拡幅に伴い整備される「(仮称)佐野市まちなかにぎわい空間」のオープニングを記念したイベントを企画しています。同施設の継続的な利活用を促進するとともに、まちなかのにぎわい創出に貢献できるような仕組みをつくっていけたらと思っています。

梅澤風太さん



佐野で暮らし始めて感じる思い

「佐野らーめん」「佐野厄除け大師」「プレミアムアウトレット」。佐野市の地域おこし協力隊員に赴任する前は、「佐野」と聞けば思い浮かぶものがあったため、全国に誇れる名物や名所がある大きなまちなものになぜ？と、地域おこし協力隊員を募集している

ことを不思議に感じた覚えがあります。

実際に佐野市で暮らすようになってもうすぐ2カ月が経ちますが、やはり「誇れるものがあるまち」という思いは変わらず、ただ、まちなかのにぎわいがそれと見合っていないという思いを強く感じています。

何もないまちを活性化させるのは難しいことですが、佐野市には下地がすでにあると思います。隊員としての活動を通して出会う、このまちをより良くしていきたいと思う方々と共に今後も活動していきたいと思っています。



「佐野市地域おこし協力隊」のフェイスブックで、まちなかの魅力を発信しています。





今年の大澤駅伝のプログラムの表紙は川内さんがデザインを担当しました。

スポーツでワクワクとドキドキを。

佐野市のリーディングプロジェクトである「スポーツ立市」の実現に向け、昨年10月より活動しています。東京でスポーツ系の会社を経営し、デザイン、ファンディング(スポンサーの獲得、資金調達)、コンサルティング(組織の黒字化、リクルーティング)、イベント企画、ファンづくりなどの業務を行っている経験を活かし、佐野市では、既存の大会のスポンサー協賛金の倍増、パンフレットのデザイン、佐野市スポーツ賞のメダルデザイン、スポーツ団体のロゴデザインなどを行いました。



川内健吾さん

スポーツの持つすばらしさやメッセージ性はもちろん大事だと認識していますが、収益性もしっかりと考えなければなりません。佐野市がスポーツを通じて盛り上がり、交流人口(その地域を訪れる人)を拡大するためには、市が地元のスポーツ団体やチームと協力し、市内外から人を呼び込める「魅力ある佐野市」にするための会社を設立する必要があると思います。ビジネスの視点から適切かつ柔軟な発想で、佐野市に「ワクワクとドキドキを。」お届けしたいと考えています。

大塚由香里さん



天明鑄物の魅力を市内外に発信

昨年1月に着任して、1年が過ぎました。着任して始めに行ったのは、天明鑄物のホームページとフェイスブックページの作成です。ネットを強化することで全国に向けて発信が可能となりました。

上期は、7月下旬に栃木市の協力隊とのコラボイベントを行いました。近隣の市の人々にも天明鑄物を知っていただく良い機会となりました。

下期は、天明鑄物×「食」という企画を行いました。天明鑄物にさらに興味を持ってもらうために、身近な「食」を通して普段使いできる器を鑄物師さんたちに制作していただき、佐野日本大学短期大学の学生にはその器にあったレシピを考えてもらいました。料理を盛りつけた器とその料理のレシピを掲載したパンフレットを作成し、実際に器を見られる展示会も開催しました。



イベントを通じて、より多くの人に天明鑄物の魅力を知ってもらうことができました。

たくさんの皆様のご協力のもと、この1年活動できたことを心よりお礼申し上げます。

「あきやま有機農村未来塾」のサポート

地元住民による地域おこし団体「あきやま有機農村未来塾」の活動のサポートが主な任務です。

未来塾は、①手もみ茶づくり、②酒米からの地酒づくり、③ヤマブドウ栽培からの地ワインづくりの3つを軸に、過疎高齢化の進む秋山地区を盛り上げようと活動しています。それぞれの活動を体験イベント形式にすることで地元住民と地域外からの参加者との交流



平石栄子さん



毎年5月に行われる新茶まつりの様子

の場をつくり、秋山の魅力を発見・再認識してもらえたらと思っています。

昨年からは秋山での「暮らし」を体験してもらえよう「おためし住宅」も始めました。現在入居中の方は、秋山での生活を楽しんでいます。

まちなか比べると不便なこともありますが、自然豊かで人とのつながりが深い秋山地区の良さをもっと知ってもらえよう努めていきたいです。「あきやま有機農村未来塾」のホームページもぜひご覧ください。

